公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス LLEVO 庁舎お宮

公表日 2024年2月29日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室のスペースとの関係で適切である。	○		運動を行うためやコミュニケーションを図るため、集団での活動として実施する際は、定員を10名までとしている。	
	2	利用定員やどこの位置等が対して、職員の配置数は適切である。	○		配置基準を満たすように職員の配置を調整している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や車椅子通等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・定期や設置やの充実の充実を利用者に応じ、ルールやマニュアル等の作成を行っている。 ・危険のある場所には、区画やパーテーション等を活用し、安全の確保に努めている。	・事業所の入口までにある階段があるため、使いやすさは特にやさしくない。 ・危険のある場所には区画やパーテーション等を活用し、安全の確保に努めている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども集団の活動に合わせた空間となっているか。	○		・入口と手洗いに手洗いで表現をしている。 ・空気清浄機を使用している。 ・トイレの清掃や消毒は、マニュアルを作成している。	・窓が開かない構造になっている為、換気の工夫をする。 ・窓内は十分広がるため、内部がコンクリートむきでやすやすある。
	5	必要に応じて、どどもが個別の部屋や場所を使用することが自由られる環境になっている。	○		・個別に対応できる環境となっている。	
適切な支援の提供	6	事務改善を図るためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画されているか。	○		現場から、	児童面で作るためのPDCAサイクルを明確化されていない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・問い合わせ書は職務時での来れ、必要事項を記入し、広く支援方法を設けている。	・保護者向けの評価表を1年や適宜、広く支援方法を設けるようにしていく。
	8	職務の負担等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・こまめに声掛けを行いコミュニケーションを取っている。	・この職務でも気軽に話せる環境を整えていく。
	9	法に基づく各支援等を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・保護者さまごご意見をとご確認用ブラ作成し、必要に応じ改善している。	・第三者意見会は設置していない。
関係機関との連携	10	職務の適切の充と支援るために、併せ地を把握する施設や児童や関係を把握する施設が整備されているか。	○		放課後等デイサービスに、福祉課等と共も連携施設やエリトゥン学校施設の相談を受け、広く支援方法を設けている。また、連絡やの他の職員に、相談支援事業者と共有するケースについて放課後等デイサービスや相談支援事業者と共有している。	広く共の研修などについてはどのようにどこの広さるとるこの実施を知る事は難しい。相談やルールの明確化や地方人間と地域、技術を越えず広さまさていく努力がされていない。
	11	講師に芯部プログラムが作成、公表されているか。	○		HPに公表しています。	
	12	幼小さどもも対して子をスメントを通じ行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に把握とともに、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		計画ない。	児童面で作るため、個々のどもと保護者とおしてアセスメントの下で作る。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援事業所等と連携や協力などして、どもや家族に関する情報の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別の支援期間主子どもの活動の方向性を共有し、放課後等デイサービス計画を作成している。	児童面で作るため、個々のどもと保護者とおしてアセスメントの下で作る。
	14	放課後等デイサービス計画を作成後に共有され、計画に応じた支援が行われているか。	○		計画ない。	児童面で作るため、個々のどもと保護者とおしてアセスメントの下で作る。
	15	どどもの適応行動の状況を、標準化された方法を用いたフォーマルなアセスメントやどもの行動観察などを用いインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	○		計画ない。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「５領域」「発達支援」「移行支援」及び「地域支援・体制連携」の６つの分野が記載されるなど、どどもや支援上の課題が適切に設定されているか。また、各支援の支援内容が設定されているか。	○		計画ない。	児童面で作るため、個々のどもと保護者とおしてアセスメントの下で作る。
	17	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		それぞれの活動週の作り体や方が比例様々な活動プログラムを作成し、活動を毎月ごとに作成している。 また、個別な活動としてSSTや感覚統合などを用意とした多様なを受け入れられるプログラムとしている。	それぞれの職成度に合う事はあると思うが、それぞれの子どもの特性に合わせた活動ができていないこともあるため、個々を見ていく必要がある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		放課後は、運動好きは、リトイック訓練等、個別療法も、スポーツ好きなどあるは各共支えるそれぞれのどもとのニーズを把握し、活動プログラムを作成している。 日本様々プログラムに加えを様々なサービスを提供する連動型型として児童発達支援・放課後等デイサービス所を実施している。	こどもプログラム、リーダと支援支援計画を作成していくためにそれを有効する人材を確保していく必要がある。
	19	こどもの状況に応じて、個別指導と集団指導を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援を行われているか。	○		個別でも集団でなくても集団活動を加味して計画を作成している。	個別での活動でなくても集団活動を加味して計画を作成している。
	20	支援開始前には複数関係者が参加の上で、児童や家族に対する適切な配慮の下で、障害の特性に応じた、利用開始時の支援が行われているか。	○		・セッション前にLINEやふぉが行い、メニューやどもの活動品、子どもの注意ごとを入れ、決定はOKページ送ったっていく。	
	21	支援終了後には、個別移行支援計画を作成し、関係機関と連携して支援を行う等、切れ目ない支援体制を確保しているか。	○		・セッション後にもLINEをが行い、子どもの様子や、こと、成長したこと、良くなったこと、嬉しかったこと、決定はOKページ送ったっていく。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回支援で新しくやっていく支援が多くのどもに、安全を確保にたてスでどもの様子や活動の記録、特にどもの成長の観察を確保することとしている。その都度を様々な振り返りや検証ケース等の問題を考えるなどするプログラムを作成している。	
保護者への説明責任等	23	定期的にセミリングなどの、放課後等デイサービス計画の取組への参加を利用し、適切な説明を行っているか。	○		個別支援。	・児童面で作るため、個々のどもと保護者とおしてアセスメントの下で作る。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４この基本方針」を校舎内の分かりやすい箇所に掲示するなどして、支援の内容等の説明を行っているか。	○		掲示物等はなどはりやす、運営規程やあるべき姿入れている。	
	25	どどもが自己肯定できるような支援の工夫ができているか等、自己決定をするを育てるための支援を行っているか。	○		個別支援をしとるまた、個別でいてあるため、どもと一対一でコミュニケーションでの振り返りや、自己決定をするを育てるためのコミュニケーションなどの活動がお取り扱いる。個別と言語的が強いセッションをしている。	・予定は決まりまた、前倒していてあるため、どもと一対一でコミュニケーションでの振り返りや、自己決定をするを育てるためのコミュニケーションなどの活動がお取り扱いる。個別と言語的が強いセッションをしている。
非常時等の対応	26	障害児福祉支援事業所やサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのどども状況支援に関しと参加しているか。	○		計画ない。	今後必要性を図っていくために連絡をとっていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		計画ない。	学校と放課の情報共有は行なっていないが、保護者を通して情報を共有している。
	28	学校との園報共有（利用前後・行事予定等の交換、どどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		計画ない。	保護者からの連絡だけに限らず、先生ての連絡時刻などには利用している。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有と相互理解に努めているか。	○		計画ない。	保護者や話とも電話であれば設定している。
関係機関や保護者との連携による支援	30	学校を中退し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容や情報を関係する機関へ提供しているか。	○		計画ない。	・学校を卒業し地域支援等で連携をとる。
	31	地域の児童発達支援センターの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		計画ない。	・交流を積極し地域支援等で連携をとる。
	32	医療連絡票クラブや支援書との交流や、地域の他のどどもと接触する機会があるか。	○		計画ない。	・ＬＬＡＣＯＹ内児童広内のお子さんと交流の機会がない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		計画ない。	・今後参加していきたい。
	34	日常からどどもの状況や保護者と伝え合い、どどもの発達の状況や課題について共通理解を図っている。	○		セッション後、子どもの様子などを連絡ノートやチャットでとりとしている。 また、どどもの様子などを、電話やチャットやメールでとりとしている。	
	35	家族の対応力の向上（ペアレントトレーニング等）や支援者向けの子育て支援等の取り組みを行っているか。	○		実施での対応方法などをお伝えしている。	
保護者への説明責任	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について分かりやすく説明を行っているか。	○		契約時に行い、年契やあれば随時も施設をしている。	
	37	放課後等デイサービス運営を定期的に公表する際には、どどもや保護者の意見の尊重、どどもの最善の利益や関係機関と共有する際などて、どどもや家族の個人情報に十分に配慮を行っているか。	○		モニタリングや面談にてご家族の意向の確認を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自己負担金について同意を得ているか。	○		契約時にお伝えし、同意を得ている。	
	39	運営指針の公平で丁寧な説明に努めるとともに、苦情や必要な対応を適切に行っているか。	○		苦情などの対応方法などをお伝えしている。 回答なし。	・苦情などついない為特記事項はございません。
事故発生時の対応	40	父母会の会の活動を支援するとともに、保護者同士の交流を図る場を提供し、保護者同士や交流する機会及び日々の支援を通じて、また、さまざまな特に守秘義務を徹底するための体制を整えているか。	○		ご意見などに対しては、個別面談で対応を実施している。また、特別な機会はしていない。	
	41	どどもや保護者からの苦情について、苦情解決の体制や窓口を設置するとともに、どどもや保護者に周知し、自ら苦情を入り取り込むよう努めているか。	○		実施などで保護者と活動や様子を伝え、プログラムを発信している。	
	42	定期的に保護者等を集めて、苦情内容等を把握するとともに、苦情解決や仕組等を広く、適切な対応や再発防止に努めているか。	○		実施内などで保護者と活動や様子を伝え、プログラムを発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		事業所内内のデータの外でもお伝えしており、収納している場合でも各種やっている。	
	44	障害のあることや保護者との意思の基礎や情報収集のための配慮をしているか。	○		・どどもや特性とおりて、理解しやすいようにお工夫している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		回答なし。	・していない。 ・今後、ホームページ等地域に向けての情報を行っていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、感染時対応マニュアル、防災マニュアル、緊急避難対応マニュアル等を策定し、職員や児童等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・マニュアル未整定のお近定にもれるようにしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・月に2回避難訓練を行なっている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のどどもの状況を確認しているか。	○		契約時に書類は記入してもらっている。	定期的に更新していく。
	49	食物アレルギーのあるどどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			・食事の提供はない。
	50	安全計画を策定し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分されやすや支援行われているか。	○		契約時に確認している。	定期的あれば研修時有していく。
	51	どどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に確認している。	定期的あれば研修時有し、確認していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事故が発生し主要には、必ず要報告や共有し、自身発生後の対応に関してやすくしてアナリシアをしるコトでいっている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		個人研修にて、事業所に配属前におよび新年度より研修の受講としている。	
	54	どどもから寄出たされた苦情や虐待等を行うなどについて、組織的に対応し、どどもや保護者と事前に予防に期間と了解を得たとて、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		回答なし。	契約時に説明を行い、保護者からの承諾を得ている。